NIE実践報告

1．タイトル：国内短期留学を新聞で伝えよう

2．学校名

佐野日本大学中等教育学校

3．実践者名（代表者名）

須藤多佳志

4．学年

2

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

技術　115人

6．単元（本時の学習課題）名

コンピュータで新聞を作ろう

7．目標(狙い)

国内短期留学を来年行く1年生に伝えるために新聞を作成し参考にしてもらうとともに、新聞づくりを通して情報の取捨選択を考える。

8．評価の視点

国内短期留学の内容を的確にまとめ、必要なことが十分に伝わるように記事が書けたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

情報とコンピュータ（教科書教材：開隆堂）8時間
情報の収集と伝達の方法（媒体等）を知る。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

1．新聞紙面の構成を学ぶ（1時間）
2．新聞作成用ソフトの使い方（1時間）
3．新聞作成をする（６時間）

（留意点）
・記事と写真・見出しの配置を考えて、一番伝えやすい方法を考えさせる。
・写真を効率的に配置し、記事で内容を補う工夫を考えさせる。
・何を中心に伝えるのかがわかるように紙面の配置を考えさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

写真や見出しの配置だけに苦労をしている生徒が多かったが、記事を書くことによりそのバランスが決まってくると、大きかった写真を小さくするなど、文で伝えることを重視する生徒が増えた。

12．成果と課題

作った新聞を全生徒分印刷して配布したところ、同じ写真を使いながらも、全く異なる視点からの記事になるなど、生徒一人ひとりの違いが明確になってよかった。記事の量が多いので、作文の苦手な生徒には大変だった。